

令和3年度 (2021年度)

事業報告書



- 前 文
- ・ 法人 運 営
 - ・ 施設事業運営
 - ・ 地域との関連
 - ・ 会 計
 - ・ 添 付 書 類

社会福祉法人 正和会

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 正和会

★前文

きめ細かな保育と家庭的な雰囲気のある保育園、確かな保育理念と熱い情熱を持った保育園という評価が定着し、ひめゆり保育園・てんじん保育園ともには保護者から大変に高い評価を得るとともに、『保育園まるごとランキング』という保育園のランキングサイトにおいて、小平市の『保護者の評判の高い保育園』第2位と4位にランキングされるなど、高い評価を受けるようになっている。

しかしながら、今年も新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、園内にも陽性者が出て卒園遠足やクラス懇談会が中止になるなどの影響が出た。

そんな中でも、子ども達の笑顔のために何が出来るかを職員一同で考え、知恵を絞りながら保育を行ってきた。

1. 法人運営

(1) 実施事業

当法人は、児童福祉法に基づき子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせ児童の福祉を積極的に増進し、併せて地域における全ての子育て家庭に対して育児・子育ての支援を行うため、次の社会福祉事業を行いました。

◆ 第二種社会福祉事業

- 1, 保育所 ひめゆり保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-6-1
定員等 0歳～2歳児 40名定員

- 2, 保育所 てんじん保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-1 1-2 6
定員等 0歳～5歳児 60名定員

(2) 理事会

令和3年度は4回の理事会を開催した。

- ・ 5月31日 令和2年事業報告及び決算計算書類の承認、次期役員候補者についての承認
定時評議員会の開催の省略についての承認
理事長の職務実施状況報告の承認について

- ・ 6月16日 理事長の選定に関する協議、
- ・ 12月11日 補正予算の承認、
事業及び予算の執行状況報告
てんじん保育園園長の退任と後任者の承認
- ・ 3月22日 令和4年度事業計画及び予算の承認、
理事長の職務執行状況の報告

2. 施設事業運営

(1) ひめゆり保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	6	6	7	8	8	9	9	9	9	9	9	9	98
1歳児	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
合計	40	37	37	38	39	39	40	40	40	40	40	40	40	470

イ、健康管理

1. 健康診断

年間計画に沿って定期健康診断24回、および1回の新入園児健康診断を実施した。

基本的に第2、4、5月曜日が実施日となっている。

0歳児の保護者には、ひと月に1回は受けていただくよう促し、実施日の少ない月は予めお伝えすることとしている。

2. 歯科検診

6月と12月の2回の健診を実施した。

検診の結果 うさぎ組：0歳児 あひる組：0歳児 きりん組：5歳児

- ・ 0、1歳児のむし歯保有者はいなかった。

口腔清掃状況も「普通」でした。今後も引き続き毎日の園での仕上げ磨きと家庭でのケアを継続して行い口腔内の清潔が保てるように努める。

- ・ 0歳児：仕上げ磨きの練習も0歳児では、最初、口を開けることを嫌がる児もいたが、終盤には全員嫌がることなくできた。1月より仕上げ磨き開始予定である。
- ・ 1歳児：6月ともに切端咬合1名。次回、健診時に再観察し、経過観察となる。
- ・ 2歳児：6・12月ともに反対咬合2名。次回、健診時に再観察し、経過観察となる。

※新型コロナウイルス感染症の拡大の観点から、蔓延防止等措置が解除されるまでうがいのみの対応とした。

3. 腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員（パート、保育助手を含む）を対象に行った。
また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー保育士、調理室、園長、主任、看護師）については毎月検査を行った。
結果は年間を通して全職員陰性であった。

4. 職員検診

10～12月の3ヶ月間で「立川北口健診館」にて、全常勤職員対象に行なった。
生活習慣病健診対象者 8名、法定健診対象者 13名であった。
また全職員、血液検査と心電図の検査項目を追加して行った。
雇入れ時健診も入職者全員に対して実施した。

5. 保健指導

- 4月：うさぎ組クラス懇談会にて入園初年度の集団生活における体調管理心得などを伝達した。
- 6月：歯科検診導入保健指導としてあひる組・きりん組に絵本「はみがきれっしゃくぼまちこ ペープサート「まめ子ちゃんの歯科検診」を行った。
- 8月：職員会議にて職員向け手洗い指導①。手洗い手順再確認した。
- 9月：職員向け手洗い指導② 手洗チェッカーローションを使用した。
午睡時間や会議の日を利用して常勤勤務者を中心に手洗いチェックを行った。
手首や爪の際・指の間に洗い残しが目立った。
- 10月：きりん組 進級に向けて手洗い指導の実施。絵本「ぴかぴかおてて」
手洗いデモンストレーション「おててをきれいにあらいましょう」（「あめふりくまのこ」のメロディ）後、順番に液体せっけんを用いて水道で手洗いを実施した。
あひる組・きりん組の水道正面に手洗い手順ポスターをはった。
- 11月：職員向けAED講習会 20名（てんじん保育園より1名）日本光電主催
：きりん組 鼻かみ指導 3グループに分けて実施 一部「あいうべ体操」利用した。
指導後石鹼にて見守り手洗い施行した。
- 12月：歯科検診導入保健指導として、あひる組・きりん組にパンダのパペット・ペープサート「まめ子ちゃんの歯科検診」を行った。
- 2月：きりん組 手洗い指導 うがい指導

6. ひめゆり広場事業での保健活動

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「わくわくひめゆり」は開催しなかった。

7. 内服薬と薬状況

【投薬に関する特記事項】

- ・ 右耳中耳炎によりワイドシリン・トランサミン・ムコダインを9月27、28日に投薬した。
- 預かり薬について園内で検討した結果、平成29年度より医師の指示書のある薬に限りお預かりして投薬することとした。そのため、大幅に投薬件数の減少に至ったと考えられる。

9. 食物アレルギー対応

きりん組 山梨朝葉 卵アレルギーにて6/18アレルギー面談施行。（担任・栄養士・看護師）当園では食材に卵を使用していない。
緊急時の搬送先の病院が公立昭和病院となる。

10. 巡回相談

保育の中で、発達等に気になる児がいた際、5月にあおぞら福祉センターより専門員が派遣され、午前中に該当児の様子を見ていただき、対応についてカンファレンスをおこなった。

9/15 小平市巡回相談 相談員福永氏

11/22 小平市巡回相談（OT） 佐久間直美先生 相談員福永氏

12/21 あおぞら福祉センターより榎本先生 きりん組伊藤陸人のみ対象

※4回目は、園内にて新型コロナウイルス感染症が複数名発症した事から中止とした。

11. その他

■新型コロナウイルス感染症対策

- ・職員は全員、毎朝検温し、出勤時に検温用紙に体温と咳嗽・鼻汁の症状の有無を記載してもらう。
- ・門から入ったら入室前に水道にて手洗いを行うように務める。
- ・昼食時にパーテーション（飛沫感染防止の仕切り板）の設置（きりん組）
- ・送迎表に「家族の体調不良」確認欄追加（R3/9～）
- ・園内環境整備 アルコール消毒（午前・午後）

■保健連絡会

- ・新型コロナウイルス感染症流行にて開催していなかったが、11/15・2022/1/1に再開実施した。

ウ、栄養管理

栄養士が積極的に栄養指導を行うとともに、子どもたちの健康状態を把握しながらバランスの良い献立作成に取り組み、献立を元に給食を提供することが出来た。

献立には季節を感じられるよう、旬の食材を多く取り入れた。

食育の一環として、栄養素・食材の効能等をレシピ・おたより等を保護者対象に配布し、興味関心を持ってもらえるよう務めた。

日本の行事食・伝統食についても同様に、掲示や給食だより等で保護者へお伝えした。

小平市内にある直売所マップを活用し、保護者とお子様の間でも旬の食材に触れる機会を増やせる様に情報提供を行った。

離乳食

離乳食全般については、子どもひとりひとりの発達・喫食状況に合わせ、細かい対応を行った。期が上がる際には、コロナ禍の中出来る範囲で保護者・担任・栄養士で離乳食面談を実施し、家庭・クラスと連携を図りながら、固さ・大きさ等調理形態に十分留意し、食事を提供することが出来た。

乳児食

アレルギーによる除去食の希望が1名あった。（該当するアレルゲンの提供が保育園ではなしのため、園での対応食の提供は無し）

宗教対応食の希望が1名。（該当日は家庭より持参としたため、園での対応食の提供は無し）

年間を通して、トレーを使用する等、個別に対応を行った。

献立表に除去（または代替）内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努め、安全に食事提供を行った。持参のお弁当の受け取り、保管、提供方法のマニュアルを作成し、職員間での情報を共有した。

献立表に除去（または代替）内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努め、安全に食事提供を行った。

*災害備蓄の入れ替え等により、配布がある場合は原材料の掲示、伝達を徹底し対応した。

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

カリキュラム会議は全職員が参加できるよう実施し、一人ひとりの発達・成長を共有し共通理解の下に保育を行なうことが出来た。

オ、安 全 管 理

園舎北側のスロープに滑り止め舗装を行った。また、固定遊具についても、バネの耐用年数の問題から、バネ交換などの対応を行った。

カ、職 員 の 処 遇

(1)健 康 管 理

腸内細菌検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、全ての職員が立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2)職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3)研 修 報 告

別紙『研修会参加一覧表』にあるように東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加した。受講者は職員会議等を利用し研修報告をし情報共有した。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』と『おもちゃインストラクター』を受講し、資格取得に努めた。

(4)福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個職員が個々でセンターの事業を活用した。

(5) 地域社会との関連

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、子育てひろば『わくわくひめゆり』見合わせた。

園庭開放については、5月から41回実施した。

ア、保育実習生の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、保育養成校からの保育園実習生計5名受け入れを行なった。

イ、中学・高校生の職場体験・職業体験の受け入れ

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年職業意見を受け入れている小平市立小平第六中学校、小平第三中学校、保谷中学校ともに職業体験授業が中止となったために受け入れはなかった。

(2) てんじん保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
3歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
5歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合計	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720

1・健康診断

毎月第1木曜日を健診日とした。

乳児健診は毎月行った。休んでしまった場合は、ひめゆり保育園で健診を実施した。

1歳児は0歳児とともに毎月健診を行った。

いるか組、くじら組は、2か月に1回健診を行った。

2・歯科検診

6月・12月と2回実施した。

未処置むし歯のある児が6月は3歳児1名、5歳児1名、12月は3歳児1名、4歳児1名、5歳児1名だった。検診後に、歯科受診を促し、早期治療が行えた。

3・視力測定

9月(5歳児)・11月(4歳児)・1月(3歳児)に測定を実施した。

気になる様子があった児は状態を保護者に伝え、眼科受診を勧める。その結果、異常はみられなかった。

4・腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員(パート、保育補助を含む)を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員(0歳児担任、フリー、調理室、主任、看護師)については毎月検査を行った。結果は年間を通して「陰性」であった。

11月に調理職員4名はノロウイルスの検査を行い、結果は「陰性」であった。

5・職員健診

健康診断を10～11月に「立川北口健診館」「総合健診センターヘルチェック」にて行なった。

生活習慣病健診対象は5名。法定健診対象者(35歳以下)は12名。

がん検診なども受けられるように設定したことで、各職員が自分の健康に関心をもてたのではないかと思う。

入職した職員については、雇入れ時の健診を行った。

6・保健だより

年間で12回の保健だよりを発行した。

7・保健指導

6月 歯磨き指導(いるか組・くじら組)

- 9月 食べたものはどうなるの？排便の後始末（4歳児）
- 11月 うがい指導（3歳児） うがい・手洗い指導（くじら組）
- 12月 手洗い指導（いるか組） 歯磨き指導（4歳児）
- 1月 咳エチケット（4・5歳児）
- 2月 歯磨き指導（3歳児）
- 3月 うんちの話（3歳児） 就学に向けて（5歳児）

8・内服薬と薬状況

なし

9・巡回相談

6月・10月・1月・3月の計4回、あおぞら福祉センターより先生に来て頂き、気になる行動のある児の対応について話し合いを行い、アドバイスを頂いた。

10・怪我、通院について

〈怪我・通院：6件〉

- 6月：4歳児が室内で足を踏まれ、足趾に腫脹あり。整形外科を受診する。
- 9月：3歳児が室内で転倒し、歯茎からの出血あり。歯科を受診する。
- 1月：3歳児が転倒し、額をコンクリートにぶつけ腫脹、擦過傷あり。昭和病院を受診する。
3歳児が園庭の遊具に前歯をぶつけ、動揺あり。保護者と歯科を受診する
- 3月：1歳児が他児とぶつかり、歯茎から出血あり。歯科を受診する
5歳児が園庭で転倒し、歯の動揺あり。歯科を受診する。

11・感染症について

- ・4～5月にかけて、突発性発疹に4名罹った。
- ・7月にRSウイルス感染症に7名罹った。
- ・溶連菌感染症は年間を通して8名罹った。
- ・2～3月にかけて、新型コロナウイルス感染症に園児17名、職員1名が罹った。
- ・今年も夏の感染症、インフルエンザの流行は見られなかった。

ウ、栄養管理・栄養指導

各クラス栄養士・調理士が栄養指導、食具の使い方、マナーの指導を行う。

離乳食についても細やかな対応を行った。食事段階ごとに面談を行い子ども1人1人に合わせた

栄養指導を行う。今年度はたんぱく質の摂取量に気を付ける離乳食児童（軽度の先天性有機酸代謝異常症）がいたため、初期食から個別に対応している。

今年度、卵アレルギー児童が入園、給食の個別対応、食事対応の面談を行う。

・喫食人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
離乳食（ミルクのみ）	1	1	1									
離乳食（初期食）	3			1								
離乳食（中期食）		3	3		1	1						

食)												
離乳食(後期食)	1	1	1	3	3	3	1	1				
完了食	55	55	55	56	56	56	59	59	60	60	60	60

※離乳食面談は各期へ上がるごとに行い、保護者や保育士と話し合い、子供の状況に沿って進めた。

・食育について以下の通りに行った。

	対象クラス	内容	ねらい
4月	くじら	水耕栽培(いんげん)	身近で野菜を育てることで、植物の成長過程を知り、収穫したての美味しさを知る
	くじら	味噌作り	大豆が様々な食べ物に変化していくことを知る
	くじら	食材の栄養について・黒米、白米について	食品の栄養(三食食品群)を知り、食選力へつなげる 白米の構造と黒米のついて知る
5月	くじら	種まき、栽培(水菜)	身近で野菜を育てることで、植物の成長過程を知り、収穫したての美味しさを知る
	いるか	そら豆のさや剥き	実際にさやをむき、五感から楽しみ食材に興味を持つ
	くじら	食事・箸のマナー	配膳の仕方、箸の使い方の基本を知る
	いるか	食事のお約束、食材の栄養について	ご飯を食べる時のマナーを知り、口に入る栄養について興味をもつ
6月	いるか	スプーン指導	スプーンの正しい持ち方を知り、持てるようになる
	くじら	箸指導	箸を正しく持てるように練習する これより月に2回練習を入れていく
	いるか・くじら	小平夏野菜カレー・野菜の栄養について	地場産の野菜を使用し、その野菜について知る
	いるか・くじら	じゃが芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたじゃが芋を洗い、芋の表面の様子を知る
7月	くじら	とうもろこし皮むき	旬の食材を知り、食材の形状を知る
9月	全園児職員	防災食を食べる(けんちん汁)	防災食の味に慣れる 防災食とは何か、普段の食事とはどのような違いがあるかを知る
	全園児	さつま芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたさつま芋を洗い、芋の表面の様子を知る
11月	全園児	だしについて	日本古来のだし文化に触れ、出汁の種類、味の種類を知り 年明けの豚汁(手作り味噌)の出汁を子どもたちと決める
12月	くじら	鏡餅作り	神様にお供えする鏡餅を作り、食への感謝の気持ちを知る

	いるか・くじら	おせち料理の由来を知る	媒体のおせちより、日本古来の行事食を知り、料理に込められた意味を理解する
1月	いるか・くじら	観察(七草)	七草がゆに入っている七草を知り、食材の形状も知る(セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)
2月	くじら	調理体験(おにぎり)	自分のおにぎりを握り、作ることの楽しさ、美味しさを知る
3月	くじら	卒園児リクエストメニュー	今までの給食を思い起こしメニューを考える

・行事食

保育園の行事や日本の伝統行事・旬に合わせて、行事食を提供した。

4月：たけのこご飯

5月：そら豆

6月：小平夏野菜カレー、目の日(小平産ブルーベリー使用)

7月：七夕

9月：お彼岸(おはぎ)

11月：冬至(かぼちゃ)

12月：クリスマス、餅つき

1月：お正月料理

2月：節分

3月：ひな祭り、お楽しみメニュー、お散歩給食、お彼岸(ぼたもち)

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

オ、安 全 管 理

てんじん保育園の園庭の照明柱に園児が頭をぶつけてケガする事故があったので、防護ゴムを取り付けた。

キ、職 員 の 処 遇

(1) 健 康 管 理

腸内細菌検査、寄生虫検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、35歳以上は立川北口健診館において生活習慣病検診を受診、それ以外の職

員も立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研 修 報 告

コロナウィルスの影響により、ほとんどの研修が中止となってしまい受講することができなかったが、新たに採用された職員は『上級救命講習』を受講すると共に、調理職員2名が新たに『離乳食インストラクター2級』の資格講習を受講し認定を得た。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用した。

(5) 地域社会との連携

今年はコロナウィルスの影響により、職業体験や職場体験がすべて中止となってしまった。

3, 会 計

橋詰会計事務所による会計指導のもと、公正・透明な会計業務を心掛けた。別紙決算書の通りである。

4, 添 付 書 類

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、